

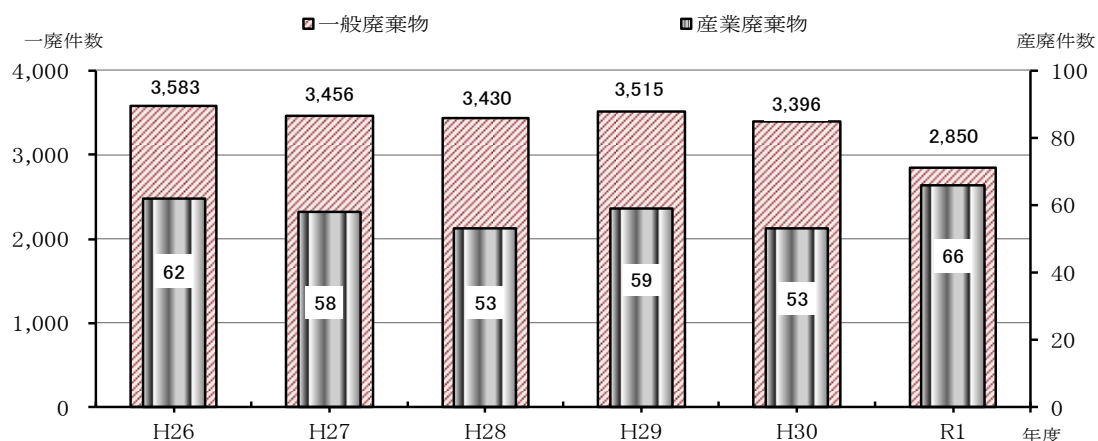
令和元年度中に市町村及び県が対応した廃棄物不法投棄及び野外焼却の状況がまとまりました。

不法投棄・野外焼却の根絶に向け、皆様の御協力をお願いします。

1 不法投棄の発見状況

一般廃棄物の発見件数は、H30年度から減少傾向となっています。

また、令和元年度の不法投棄発見件数全2,916件のうち一般廃棄物は2,850件であり、全体の約98%を占めています。

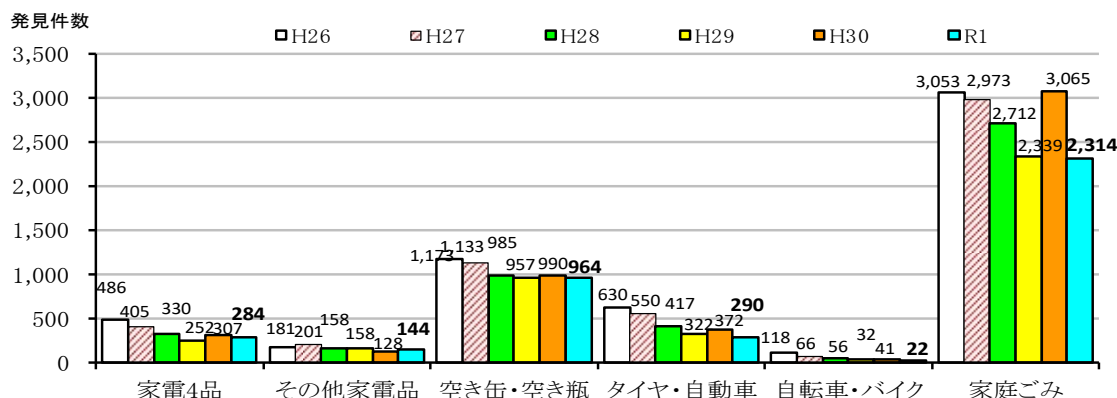


(注) 産業廃棄物には混合(産廃+一廃)を含む。

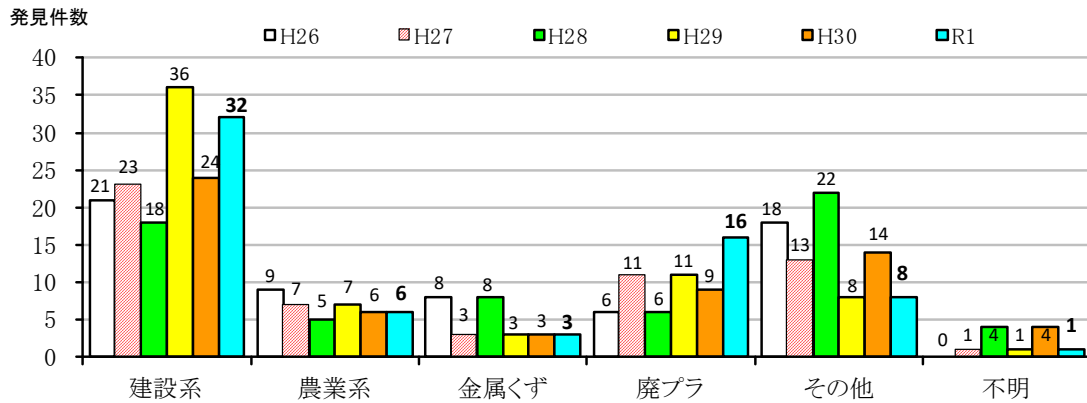
区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
一般廃棄物	3,583	3,456	3,430	3,515	3,396	2,850
産業廃棄物	62	58	53	59	53	66
計	3,645	3,514	3,483	3,574	3,449	2,916

2 不法投棄廃棄物の種類

一般廃棄物では、依然、家庭ごみの不法投棄が多くを占めています。

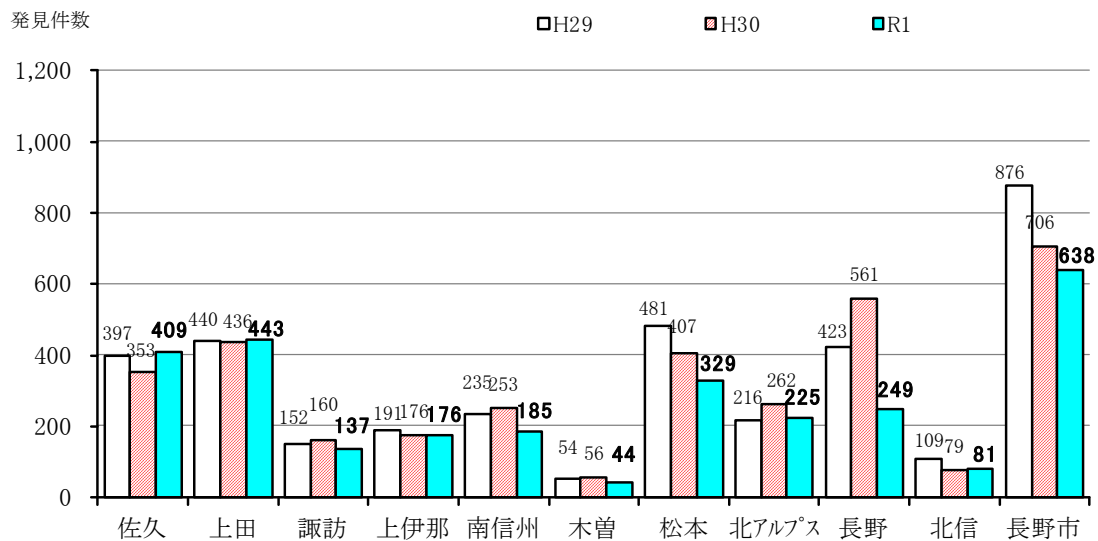


産業廃棄物では、依然、建設系廃棄物の割合が高くなっています。



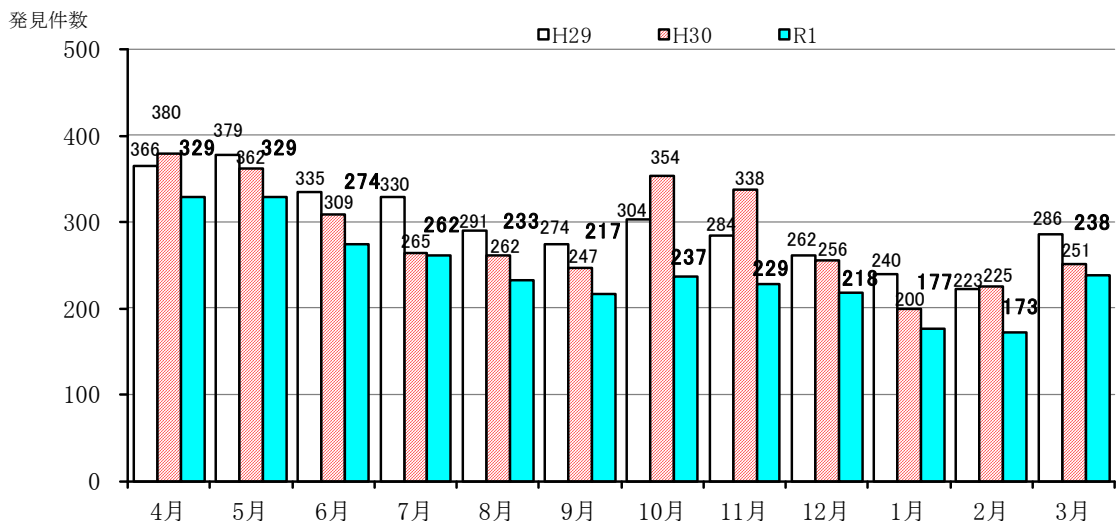
3 不法投棄の地域別状況

不法投棄の発見件数は長野市が最も多く、続いて上田地域振興局、佐久地域振興局の順になります。



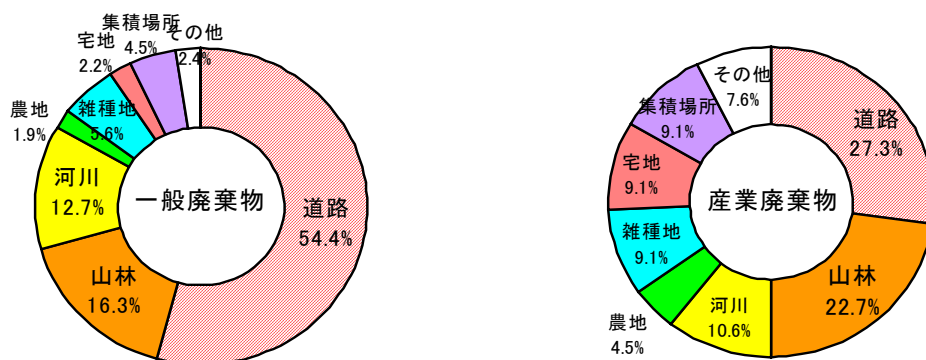
4 不法投棄の月別状況

春と秋に多く発見されています。冬は雪に覆われるため発見が少なくなります。



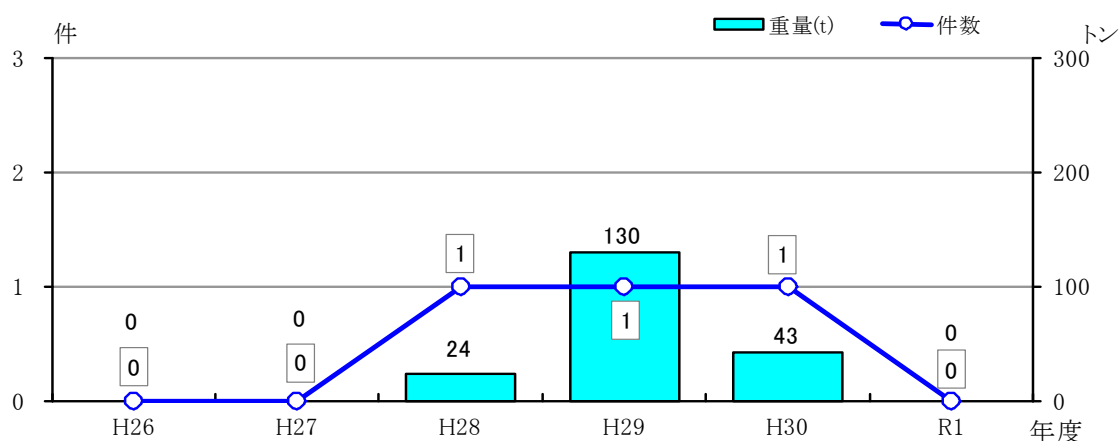
5 不法投棄の発見場所

不法投棄は、人目につきにくい道路、山林、河川などで多く発見されています。



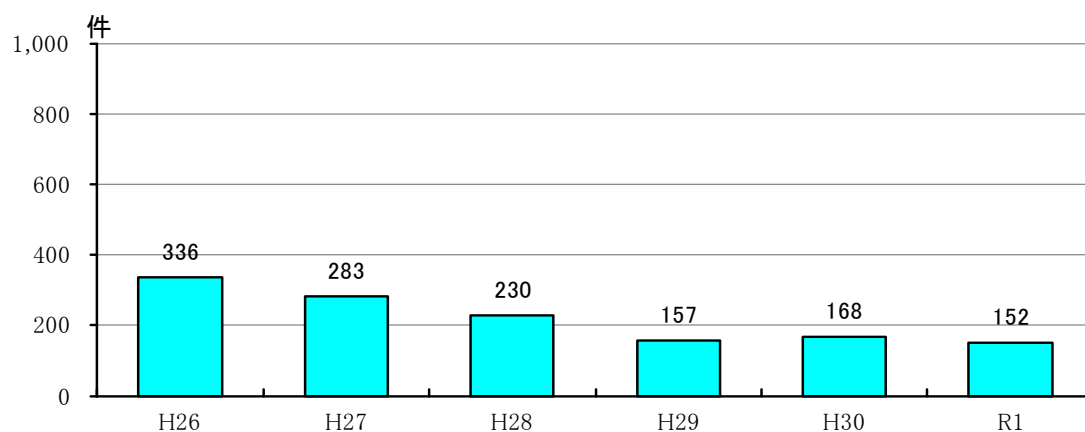
6 大規模不法投棄の状況

産業廃棄物の大規模不法投棄（10 t 以上）は、平成28年度から30年度までに各1件発見されています。



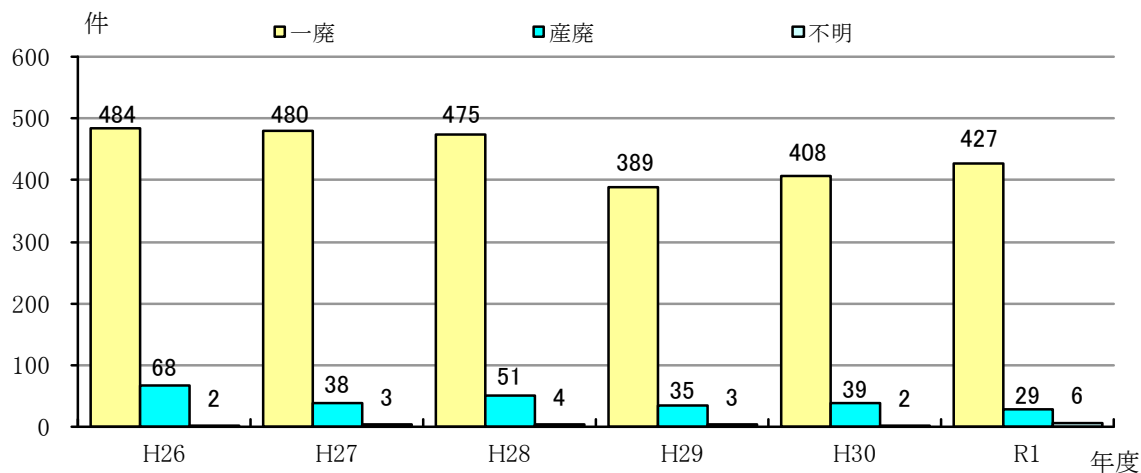
7 不法投棄に含まれるテレビの発見件数

地上波デジタル化に関連し、平成23年度にテレビの不法投棄が増加して以降、平成24年度からは減少に転じています。最近では160件前後で推移しています。



8 野外焼却の発見状況

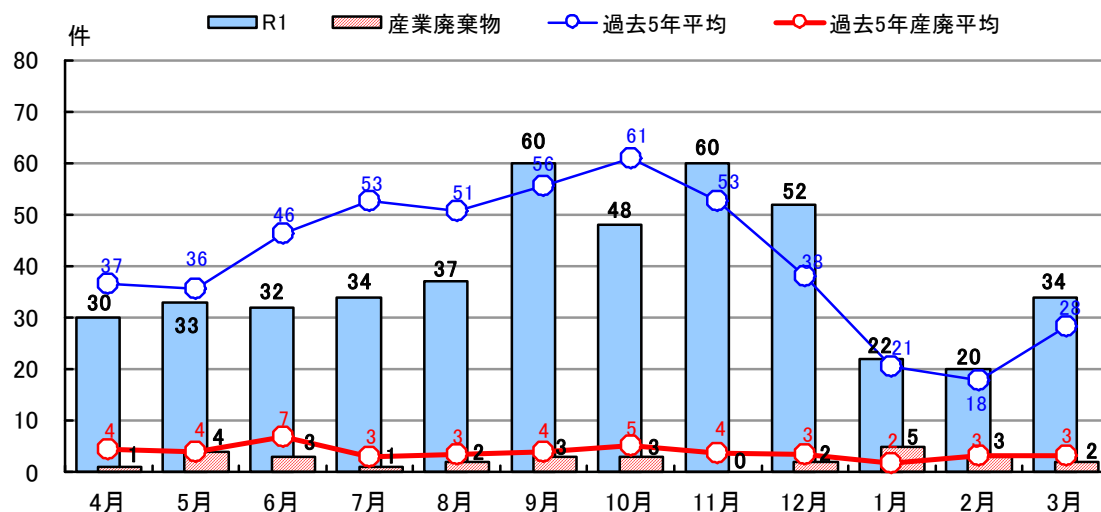
令和元年度の野外焼却の全発見件数462件のうち一般廃棄物の野外焼却は427件であり、全体の約90%を占めています。



区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
一般廃棄物	484	480	475	389	408	427
産業廃棄物	68	38	51	35	39	29
不明	2	3	4	3	2	6
計	554	521	530	427	449	462

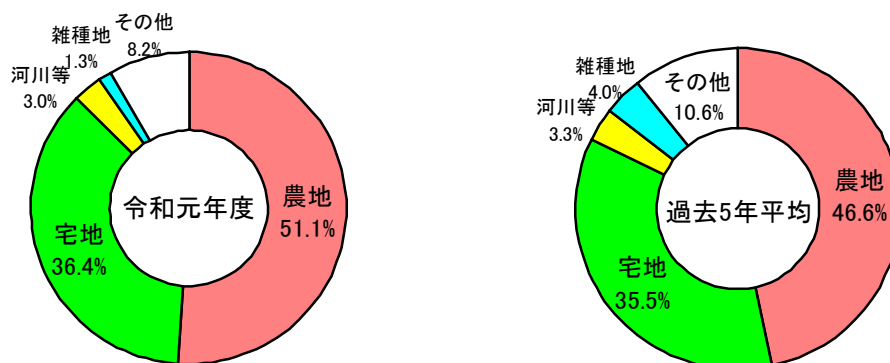
9 野外焼却の月別状況

野外焼却は、冬は発見件数が少なくなっています。



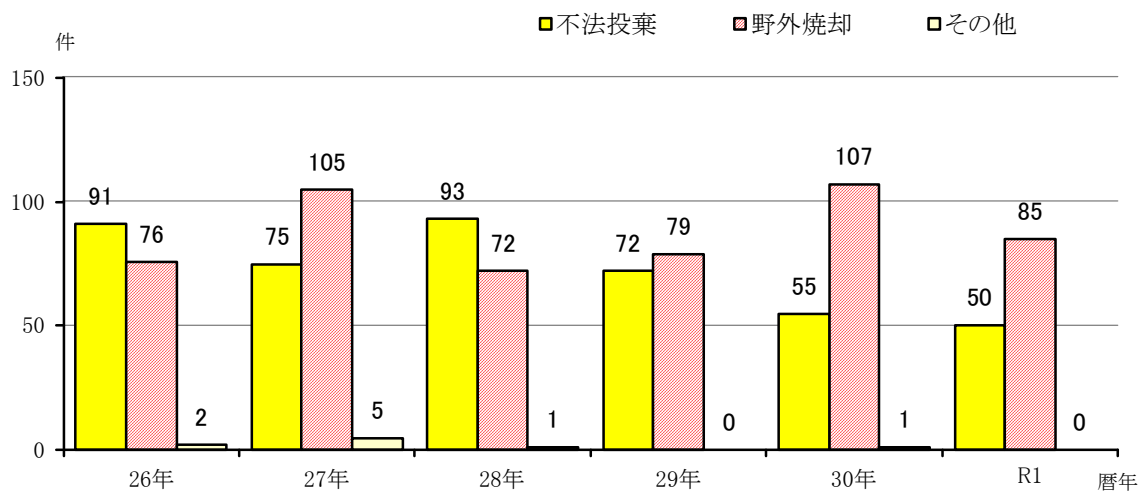
10 野外焼却の発見場所

発見場所としては農地・宅地が全体の8割以上を占めています。



1 1 警察において検挙した廃棄物処理法違反件数

不法投棄・野外焼却ともに検挙件数が昨年より減少しました。



資料提供：長野県警

1 2 廃棄物処理法違反の罰則

不法投棄や野外焼却は、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。原因者は撤去を求められるとともに、重い刑罰が科せられます。

刑事処分

個人	5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金、又はこの併科
法人	3億円以下の罰金